



人形淨瑠璃を認識せよ

人形淨瑠璃は數百年前にわが大阪の地に發祥したものである、所謂郷土藝術ではあるが、これは嘗にわが大阪の誇りのみではなく、大東亞共榮圈の指導國家としてのわが國古典藝術の粹とし、至寶として、廣く海外に誇示するに足るものである。然るに此の國粹固有藝術である人形淨瑠璃も、往時の殷盛さは泡と消え、漸次衰退の兆あるやを感ずるのは洵に遺憾である。こは一に歐米文化に眩惑せられた時代の風潮に支配された結果であるが、他方淨瑠璃をして遊戲的に取扱つた先輩愛好者の無自覺と無責任とに歸せねばならない。

基礎を有せざる藝術に劫久性は無く、沙上に樓閣を築くもそは一時的の建造である、わが淨瑠璃が數百年の歴史的傳統を有するは單なる時代思潮に乗つたのみではない、先人流祖が鏤骨研鑽によつて此の藝術を完成すべく基礎を築いたものである。然らば先人の努力を踏襲して藝術完成に邁進すべきに、徒らに遊戲視し或は遊興の具に供して何等の研鑽するところもない。斯くては衰退せざらんと欲して衰退せざるを得ないのである、われ等は千人の淨瑠璃遊戯者を覓めたくはない、われ等は一人の眞淨瑠璃者を欣求するものである。

郷土藝術の衰亡せんことを傍觀して果して郷土人の満足し得らるゝや、われ等は多くを語らないが、郷土藝術を保護するならば、此の藝術的洗練と、古い傳統を誇る國寶的存在の飛躍興隆のため、指導者も愛好者も眞に人形淨瑠璃を認識し自覺もつて斯道に寄與せねばならない、淨瑠璃をして遊興の具に供するが如きは藝術の冒瀆である、われ等は藝術神聖のために斯道關係者の三顧を求めて歎まないのである。